

令和7年度 「家庭学習の手引き」について

稲敷市立沼里小学校

基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには学校での授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。学校で子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身に付けさせると同時に、家庭では子どもたちの基本的な学習習慣を確立し、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組むことが重要です。

そこで、家庭での学習習慣の定着をめざして、家庭生活を見直し、各家庭の事情に合わせた内容や方法を考える参考資料として「家庭学習の手引き」（児童用、保護者用）を配付させていただきます。

児童用「家庭学習の手引き」では、小学校低学年（1・2年生）、中学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）に分けて、家庭での学習時間のめやすや学習内容の特徴、学習の基本や家庭での援助の仕方など学年に応じた家庭学習の在り方を具体的に示しました。ご家庭の事情や子どもの実態に合わせて、家族で話し合いながら活用していただきますよう、よろしくお願いいたします。

家庭学習の手引き（保護者用）

1 支援の仕方

- **最初** に、担任が出した宿題に取り組ませてください。
- **宿題が終わったら**、児童用 **家庭学習の手引き** の中から選んで学習させてください。
 4年生ごろからは、自分で内容を考えられるようにします。
「段取り力」が中学校になると大切になってきます。
- **どうしても勉強に身が入らないときは**、読書などでもよいので、机に向かう時間を確保してください。
毎日決まった時間「机に向かう」という習慣を身に付けることが大切です。
- **学習が終わったら**、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

学年×10分以上 が家庭学習時間の目安です。



低学年 10分～20分以上
中学年 30分～40分以上
高学年 50分～60分以上

3 保護者のみなさまにお願いしたいこと

- **学習時間の確保**
 塾、習い事、スポーツ少年団、そして遊びなど・・・、子どもたちも色々忙しい生活を送っていると思います。
しかし、小学生のうちに毎日「机に向かう」という習慣を身に付けさせたいと思います。
「**何時から何時までは勉強する**」ということを家庭でよく話し合って無理のないよう、しかし、確実に家庭学習の時間設定をお願いいたします。
- **学ぶための環境作り**
 ながら学習（音楽を聞きながら、テレビを聞きながら等）は、学習効果が上がりません。
子どもが落ち着いた学習環境の中で集中して学習できるように、各家庭で工夫してください。
（NO テレビデー、NO ゲームデーなどを設けるのもおすすめです。）
- **確認・励まし**
 子どもが学習した内容を確認し、声をかけてください。
 子どもは、ほめたり励ましたりすることで、どんどんやる気を出します。最初は内容や結果よりも、頑張って学習したことをほめてあげると効果的です。

学校からのドリルやプリントの宿題について

1・2・3年生・・・**保護者の方に丸付け**をお願いします。
4・5・6年生・・・**児童が自分で丸付け**をします。